

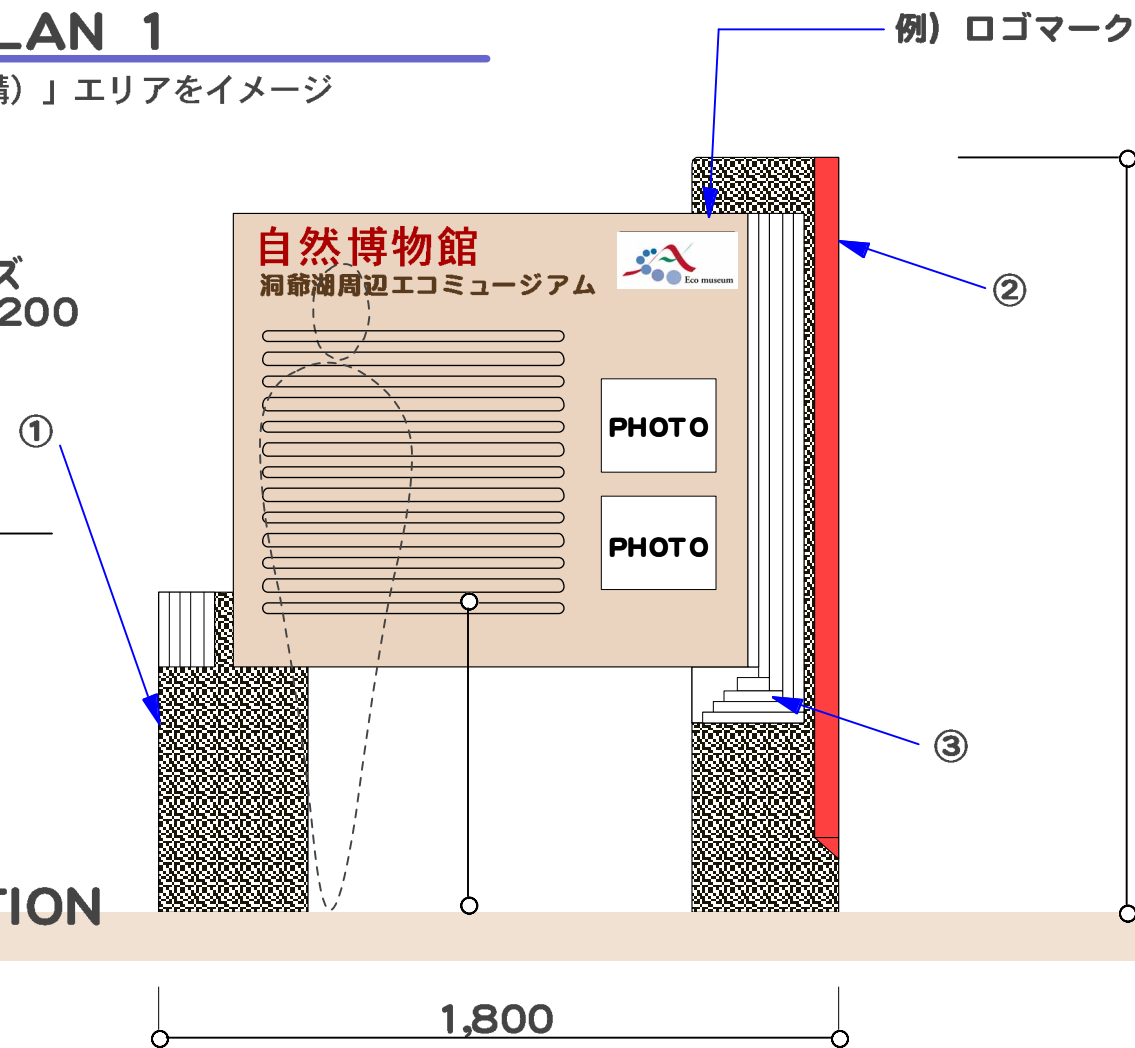
IMAGE PLAN 1

「火山の恵み（遺構）」エリアをイメージ

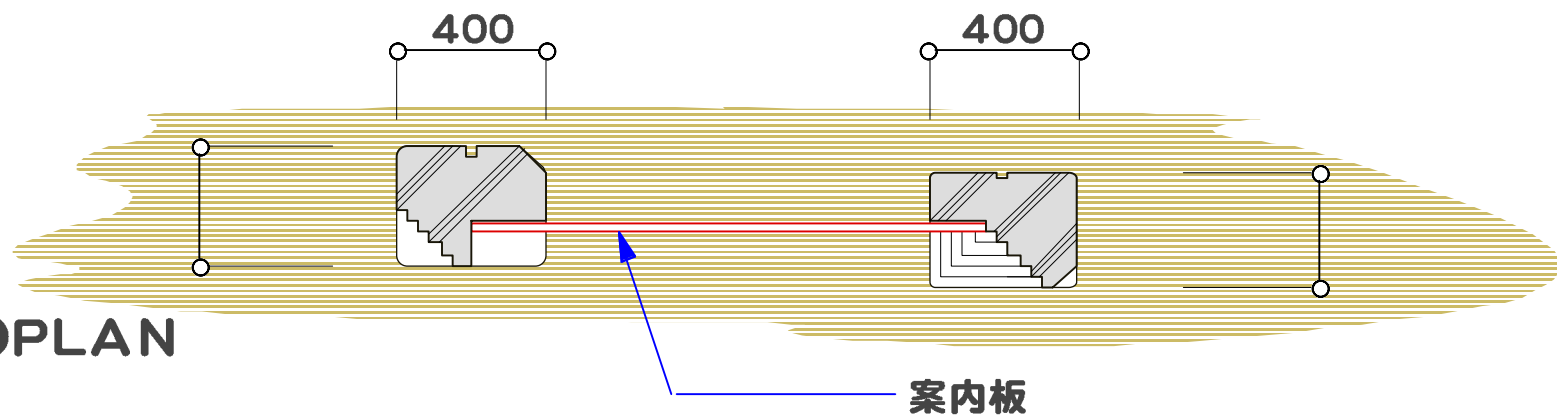
総合案内板

総合案内板サイズ
W 1,350 × H 1,200

ELEVATION



PLAN



■仕上げのイメージ■
樹脂モルタル スタッコ仕上



■デザインのモチーフ1■
有珠山山頂、噴石の粗々しい質感

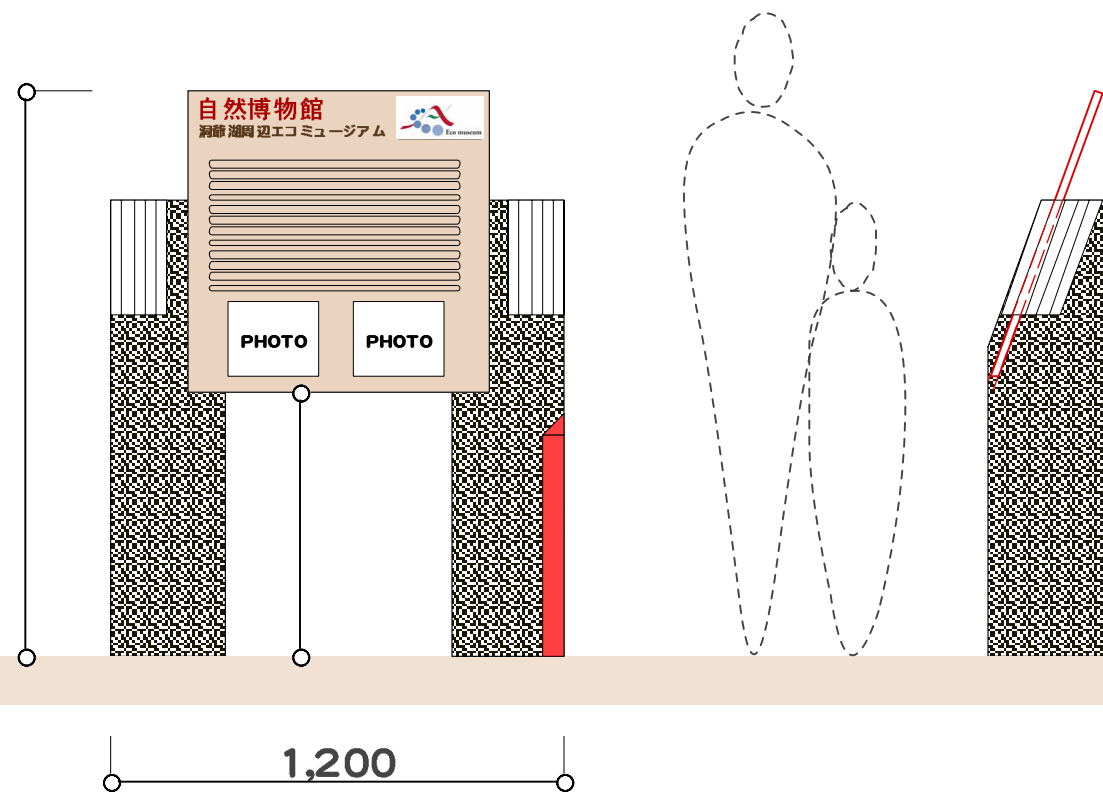


■デザインのモチーフ2■
太古よりの噴火の履歴



解説板

解説板サイズ
W800×H800



方向案内板

公園内の方向案内板については、「自然公園等事業に係る公共標識の整備指針」（環境庁自然保護局編）において「標準型の公共標識」の категорияとなり、同指針における標準設計を採用するものとされている（形状については、別紙資料）。

CONCEPT

モチーフとして、端的にエリアイメージが伝わる素材である火山灰・噴石などといった噴出物を採用したもの。
火山の粗々しくダイナミックな質感と、太古より活動を続け、噴火の歴史を地層という形で幾重にも、記憶として重ねてきた様子をイメージ化したもの。
基本的に質感を模した樹脂モルタル（黒色）仕上げを想定し、適した噴石が入手可能な場合は、躯体（コンクリート）に噴石をアンカーピンで固定するなどして、本物の質感を出す。

- 素材（表面仕上）
樹脂モルタルスタッコ仕上（顔料：黒色） t=2.5mm ①
凹凸5から10mm程度
一部、フッ素樹脂エナメル塗装（②；赤、③；白）
- 構造
RC造。
- コスト
仕上げに配慮が必要なため、コストは相対的に上がる。